

第2学年 数学科 学習案内

1. 学習目標

- (1) 文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数・データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目しその特徴を表・式・グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目しその傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認めよりよく問題解決しようとする態度を養う。

2. 学習計画

学期	月	学習内容		テスト計画
1 学期	4	1章 式の計算	第1節 式の計算	1章単元テスト
	5		第2節 文字式の利用	
	6	2章 連立方程式	第1節 連立方程式	第1回到達度テスト
7	第2節 連立方程式の利用		2章単元テスト	
2 学期	8	3章 一次関数	第1節 一次関数とグラフ	3章単元テスト
	9		第2節 一次関数と方程式	
	10		第3節 一次関数の利用	
	11	4章 図形の調べ方	第1節 平行と合同	第2回到達度テスト
	12		第2節 証明	4章単元テスト 第3回到達度テスト
1	5章 図形の性質と証明	第1節 三角形	5章単元テスト	
2		第2節 四角形		
3 学期	2	6章 場合の数と確率	第1節 場合の数と確率	第4回到達度テスト
	3		7章 箱ひげ図とデータの活用	第1節 箱ひげ図

3. 評価の観点・方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	到達度テスト・章単元テスト・小テスト・ノートの記述
思考・判断・表現	到達度テスト・章単元テスト・小テスト・ノートの記述
主体的に学習に取り組む態度	章単元テスト・小テスト・ノートの記述・振り返りシート

4. 学習方法・流れ

『授業を受ける → 宿題やワーク等で復習 → 到達度（章・小）テスト → 解き直し』のサイクルで学習を展開する。

授業でわからないことがあった場合、授業後から下校するまでに質問し課題を解決しておく。帰宅後、宿題やワークで問題演習をし、理解を深める。